



■ 湊町リバープレイス（道頓堀川）



■ 中之島空撮（堂島川・土佐堀川）

大阪の川

大阪の川

■ 平成16年12月発行

■ 発行 大阪市建設局

■ 〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-14-16 WTCコスモタワー
TEL06-6615-6838 FAX06-6615-6583

■ ホームページアドレス <http://www.city.osaka.jp/kensetsu/>



大阪 大阪市建設局

■天神祭(大川)



■淀川花火大会(淀川)

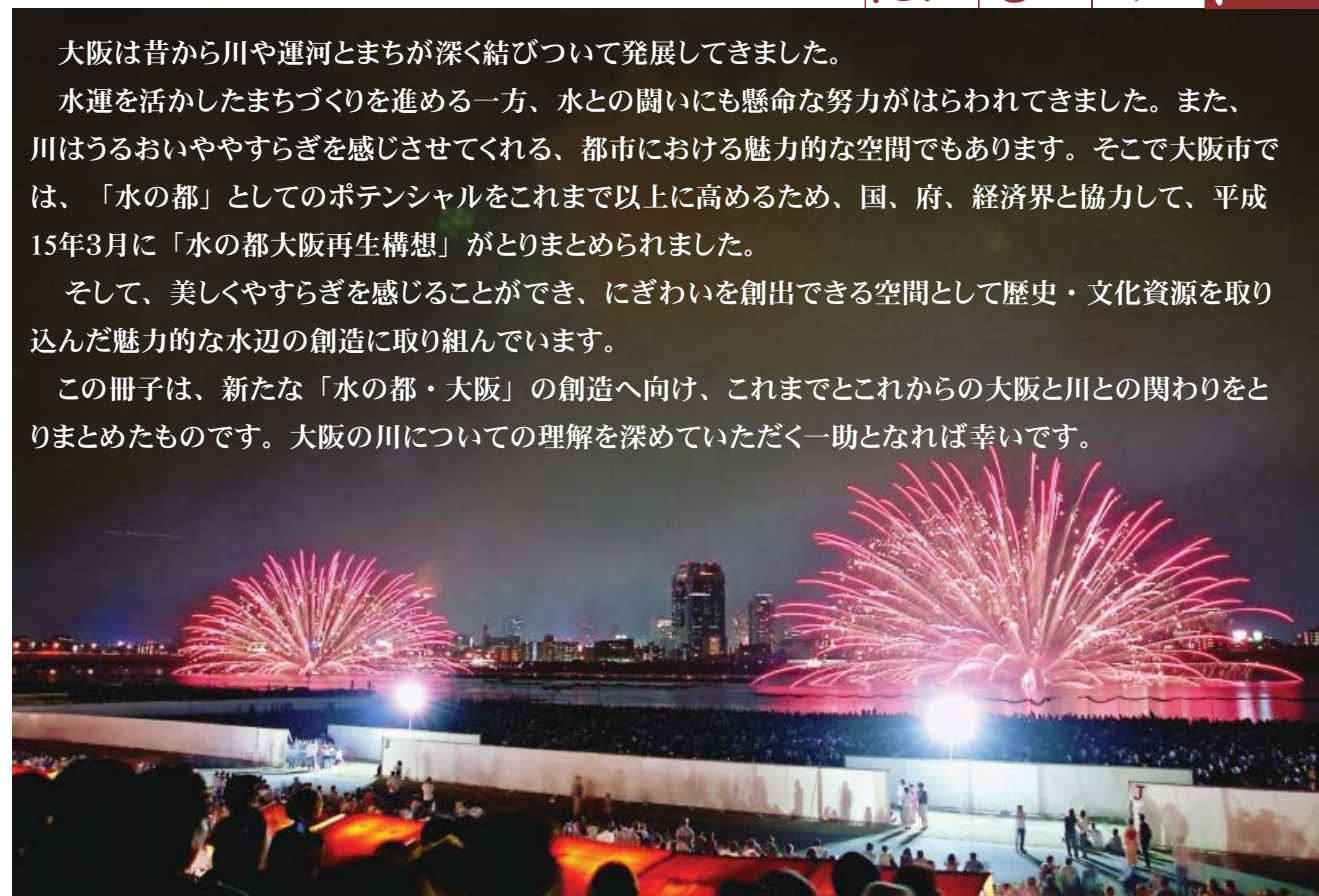


写真 ■ 川で行われるイベント

大阪では、川を舞台とした行事が数多く行われ、四季の風物詩として市民に親しまれています。大川の川筋を桜が彩る頃、造幣局の桜の通り抜けや市民レガッタなどが開かれ、初夏には歌舞伎役者を乗せた船が道頓堀川に列をなします。

さらには、淀川での花火大会や日本三大祭に数えられる天神祭が行われます。天神祭では、全国各地から100万人を超す観客が集まり賑わいをみせます。中でも100隻あまりの大船団と花火が大川を彩る船渡御は、祭りのハイライトシーンとして大阪の夜を華麗に彩ります。また、どんどこ船などが大川から東横堀川、道頓堀川を周回し、川とまちが一体となって賑わいます。

左上 ■ ドラゴンボート (大川)
 左下 ■ 歌舞伎の船乗り込み (道頓堀川)
 中央 ■ 市民レガッタ (大川)
 右上 ■ 天神祭 (大川)
 右下 ■ 湊町リバープレイス (道頓堀川)

大阪の川

新「水の都・大阪」

目次

■ 川の風景

道頓堀川・道頓堀川水辺整備事業	P2-3
大川・堂島川・土佐堀川	P4-5
木津川・東横堀川	P6-7
【コラム：水の都のルーツをたどる】	P8-9
淀川・大和川	P10-11
せせらぎ・親水広場整備	P12
大阪ビジネスパーク周辺	P13
水上交通	P14
川の生物と水質	P15
【コラム：川と文化・姿を変えた川】	P16-17

■ 川とともに

「水の都・大阪」再生構想	P18
国際会議の開催・参加	P19
大阪の治水	P20-23

■ 資料編

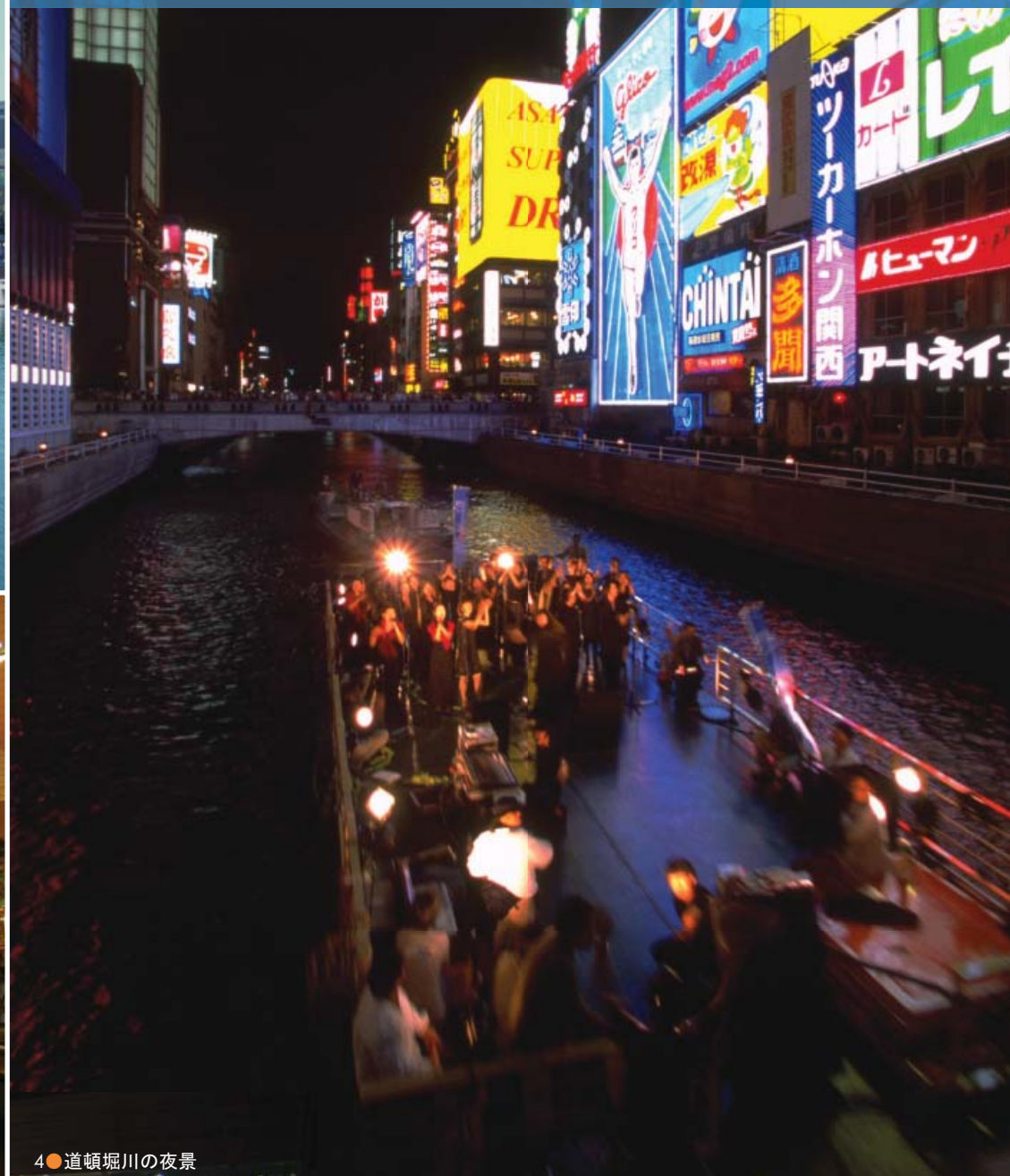
大阪の川データ	P24-25
---------	--------

道頓堀川 (延長約2.7キロメートル)

道頓堀川は、元和元年(1615)に完成した堀川です。開削当時の周辺は、歌舞伎の中座などの芝居小屋が集積し、劇場街として栄えていました。道頓堀川では、戎橋周辺の水面に映る美しいネオンの光や、湊町リバープレイス・大阪ドームなどの近代建築を背景とした風景が見られるほか、天神祭や歌舞伎の船乗り込みが行われる時には、川面一面を船が彩り、賑わいのある水の都・大阪の風景を感じることができます。



1 ● 湊町リバープレイス



4 ● 道頓堀川の夜景



2 ● 湊町リバープレイス



2 ● 大阪の川

3 ● 湊町リバープレイス



5 ● 道頓堀川空撮

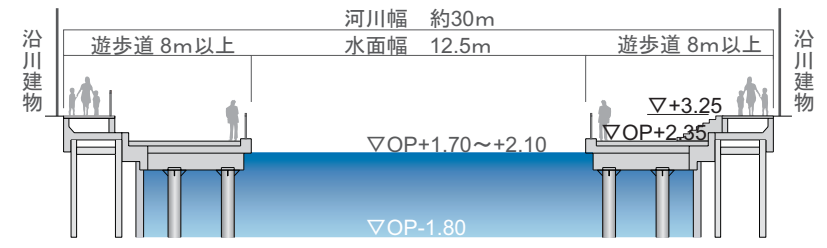
生まれ変わる繁盛の堀

6 ● 戎橋～太左衛門橋区間遊歩道整備 (平成16年度完成)



道頓堀川水辺整備事業

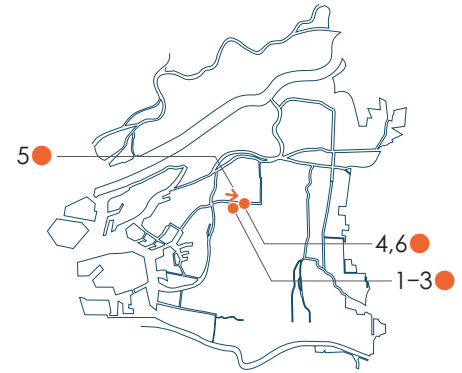
水辺のもつ「うるおい」や「やすらぎ」といった役割を活かし、大阪を代表する川である道頓堀川で、水に近づくことのできる遊歩道整備などを実施しています。



● 遊歩道一般区間断面図

その他の事業概要

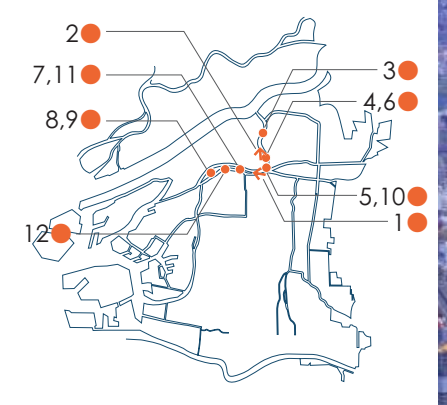
- 道頓堀川水門・東横堀川水門の建設
- 大規模開発（湊町リバープレイスなど）にあわせた水辺整備



天下の台所、水の都・大阪をつくった川

大川 (延長約4.3キロメートル)
 堂島川 (延長約3.3キロメートル)
 土佐堀川 (延長約3.0キロメートル)

大川(旧淀川)は、川崎橋付近で寝屋川と合流した後、中之島東端で北側の堂島川(旧淀川)と南側の土佐堀川に分かれます。堂島川(旧淀川)と土佐堀川に挟まれた中之島は江戸時代から続く経済の中心地で、多くの史跡や文化財、景観に配慮した建築物などの資源があります。また、四季折々の自然や毛馬桜之宮公園をはじめとする緑に恵まれており、水と緑が一体となったうおい豊かな風景を見ることができます。近世から今日まで大阪の都市の発展を支え、水の都・大阪のイメージをかたちづくってきました。



2●大川空撮



3●飛翔橋 (大川)



4●桜宮橋 (大川)



5●川崎橋 (大川)



6●泉布観 (大川)



7●中央公会堂 (堂島川・土佐堀川)



8●大阪国際会議場 (堂島川)



9●市立科学館 (土佐堀川)



10●毛馬桜之宮公園 (大川)



11●中之島公園-バラ園 (堂島川・土佐堀川)



12●中之島遊歩道 (堂島川)

1●中之島空撮 (左：土佐堀川 右：堂島川)

木津川 (延長約8.6キロメートル)

木津川は、土佐堀川から分かれて南に流れ、大阪湾に注いでいます。大阪ドームシティ付近では、水の都・大阪として魅力ある水辺の文化を創造するため、幅の広い堤防を整備して治水の安全性を高めるとともに、川とまちが一体となった親水性の高い河川空間づくりが行われています。



1●大阪ドームシティと木津川

2●土佐堀川から流入する木津川と昭和橋、端建蔵橋、船津橋



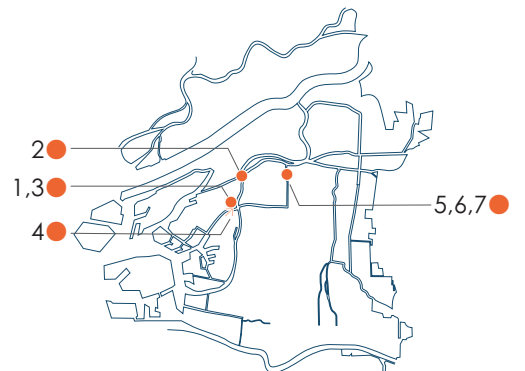
1●大阪ドームシティと木津川 (夜景)



3●大阪ドーム千代崎港



4●大阪ドーム周辺空撮



5●現役の橋としては大阪市内最古の橋である本町橋 (中央区)



近接する拠点的な施設 (左より) クリスタ長堀・大阪産業創造館・マイドームおおさか・大阪城天守閣



6●東横堀川水門

難攻不落の大阪城、
西の惣構

(惣構)城の最も外側に築かれる防衛施設で、大川・東横堀川などがこの役を果たして来ました。その中で、東横堀川は、物資輸送路としても機能していたようです。

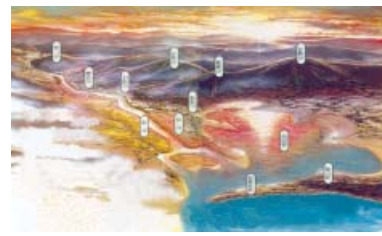
東横堀川 (延長約2.4キロメートル)

土佐堀川から分枝する東横堀川は、大阪城の築城に際して、天正13年(1585)に豊臣秀吉によってその外濠として掘られた川です。
平成13年(2001)には、高麗橋付近に水位の制御や閘門機能を併せ持った東横堀川水門が完成しました。
道頓堀川につながる東横堀川は、天神祭のどんどこ船や歌舞伎の船乗り込みのルートになっています。



7●東横堀川を通る歌舞伎の船乗り込み

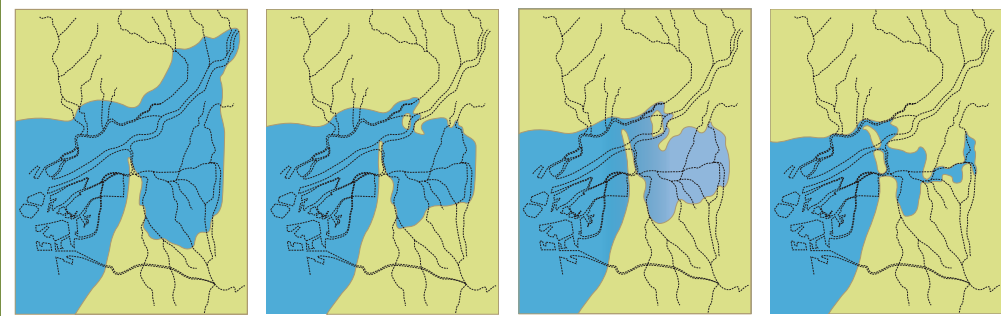
つながる川とまち



■河内湖のイメージ
資料提供：国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所

河川前史

淀川と大和川が運ぶ土砂によって大阪平野が形成



■河内湾Ⅰの時代 約7000～6000年前
■河内湾Ⅱの時代 約5000～4000年前
■河内潟の時代 約3000～2000年前
■河内湖Ⅱの時代 5世紀頃



■大阪平野の誕生 5世紀以降



■後期難波宮中心部の復元予想図

古代の難波(なにわ)は、淀川と大和川の二大河川が合流する難波津を中心に発展したと考えられています。古墳時代に中国大陸や朝鮮半島との関係が深まり、難波津は、古代日本の玄関口として、大陸からの渡来地、さらには使節往来の拠点として発展しました。

そのような背景から、大化元年(645)の大化改新のはじまりとともに新しく即位した孝徳天皇は同年12月、難波に遷都します。



■5世紀難波の倉庫(復元物)

古代の大阪

難波宮～国際都市大阪の成立



■5世紀後半頃の難波津周辺の様子

川の歴史は、大阪の歴史



■堂島米市の図 浪花名所図会 歌川広重(初代)画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



■雑喉場(ざこば) 浪速百景 歌川芳瀧画 (大阪府立中之島図書館所蔵)

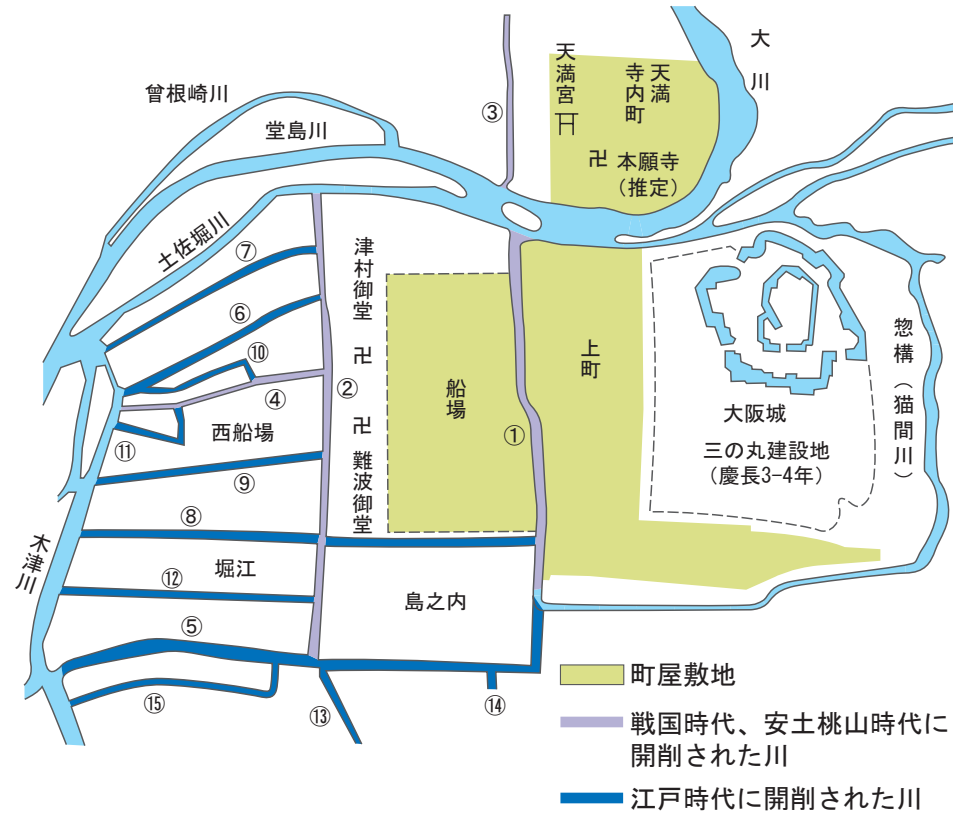


■天満市場 浪速百景 歌川国貞画 (大阪府立中之島図書館所蔵)

近世の川

天下の台所と呼ばれる大阪の経済は、川を中心に発展

大阪の都市基盤は豊臣、江戸時代から形成されてきました。大阪夏の陣で市中は一時荒廃しますが、江戸時代には土地造成や水運を目的として、堀川が開削されました。そして、大阪の経済は交通の要である川を中心に発展し、天下の台所と呼ばれるほど、全国の物資が大阪に運び込まれました。



■町屋敷地
■戦国時代、安土桃山時代に開削された川
■江戸時代に開削された川

主な市内河川の開削時期	
河川名	年度
①東横堀川	天正13年(1585)
②西横堀川	同上ころ(1585)
③天満堀川	慶長3年(1598)
④阿波堀川	慶長5年(1600)
⑤道頓堀川	元和元年(1615)
⑥京町堀川	元和3年(1617)
⑦江戸堀川	元和3年(1617)
⑧長堀川	元和5年(1619)
⑨立売堀川	元和6年(1620)
⑩海部堀川	寛永元年(1624)
⑪薩摩堀川	寛永5年(1628)
⑫堀江川	元禄11年(1698)
⑬難波新川	享保18年(1733)
⑭高津入堀川	享保19年(1734)
⑮桜川	不明



■浪花大湊一覽 歌川貞秀画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



都市に残る数多くの自然



上:5●緑が美しい大和川の風景
下:6●大和川に生息する水鳥

大和川 (大阪市域：延長約12.3キロメートル)

大和川は笠置山地を源とし、奈良盆地の水を集め、奈良県と大阪府の境にある亀の瀬の溪谷部を経て、石川、西除川等を合わせ、大阪湾に注いでいます。
かつて、大和川は幾筋もの川に分かれて、河内平野を北上していましたが、幾度となく水害に見舞われたため、元禄17年（1704）に付け替え工事が行われ、現在の姿になりました。
大和川は、淀川と同様に数多くの自然を有しており、様々な生物が生息しています。



7●阪堺電軌阪堺線と大和川

淀川 (大阪市域：延長約16キロメートル)

「母なる川」と称される淀川は、京都府八幡市付近で宇治川と木津川、桂川が合流して形成され、大阪平野をゆったりと西に流れ大阪湾に注ぎこみます。
淀川は、大阪市内でも数多くの自然が残っている川で、風景を代表するヨシ原をはじめ、ワンドでは、天然記念物のイタセンバラなどの魚類や水生昆虫の姿を見ることができます。
近代ビル群が建ち並ぶ大阪都心部あたりでは、まちなみのシルエットと淀川のスケールが融合した、美しい風景を見ることができるほか、海へとつながる河口部周辺では、ダイナミックで壮大な風景を身近に感じることができます。



1●淀川空撮（城北ワンド群周辺）

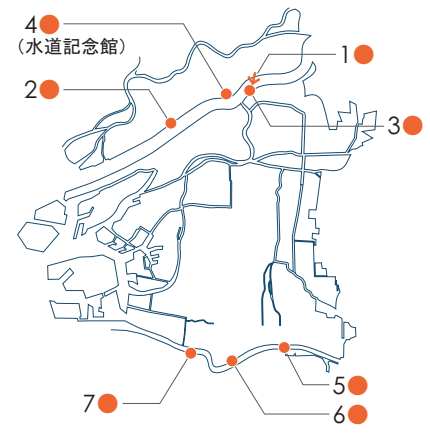
2●淀川と美しいまちなみのシルエット



3●城北ワンド群



4●天然記念物に指定されているイタセンバラ



1●城北川（旭区）

うるおいある、水の流れを身近に



川と緑、城と高層ビルの共演



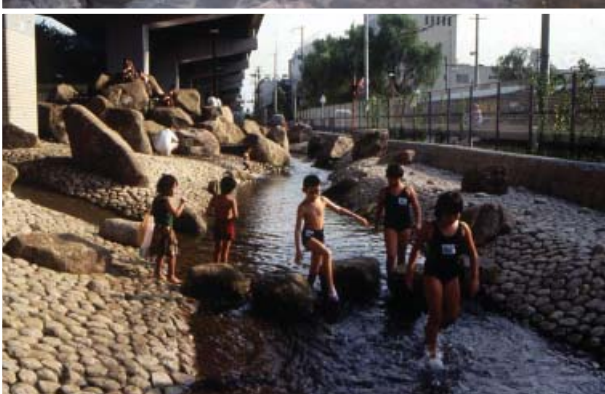
2●城北川（城東区）



3●今川



4●細江川



5●十三間川

6●大阪城に隣接する、大阪ビジネスパークと川

大阪ビジネスパーク周辺

寝屋川と第二寝屋川が合流する大阪ビジネスパーク周辺は、近代的な高層ビルと歴史的建造物である大阪城、そして緑と川の豊かな自然が一体となり、水の都・大阪を代表する美しい風景を創り出しています。



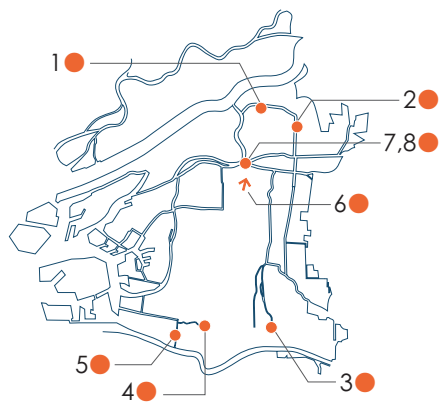
7●大和街道の出発点である京橋（右）と大坂橋



8●寝屋川と第二寝屋川の合流点

せせらぎ・親水広場整備

市内河川各所では、川の水や下水の高度処理水を利用したせせらぎや噴水など、親水性あふれる施設の整備を実施しています。





1●水上バス(大川)

水の都・大阪の資源をつなぐ水上交通



2●渡船(木津川)

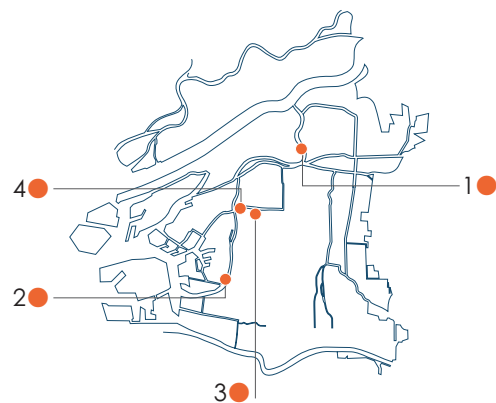


3●クルーズ船(道頓堀川:湊町リバープレイス)

水上交通

都心部を縦横に流れる大阪の川は、近世より交通機関として利用されてきました。江戸時代に天下の台所と呼ばれた大阪の産業発展には、この河川網がなくてはならないものでした。

近代に入り、舟運を中心とした交通は衰退しましたが、現代では水上バスやクルーズ船などの観光船や市民の足である渡船などが市内を巡り、これらの船からは違ったまちの風景を見ることができます。



川の生物と水質

川の生物

■汚濁に強い指標種



●ギンブナ
【出現地点】淀川上流、寝屋川、第二寝屋川、大川、安治川上流、道頓堀川、大和川

■比較的清潔な河川水質の指標種



●シロヒレタビラ
【出現地点】神崎川上流、淀川上流



●クロダイ
【出現地点】淀川下流、木津川河口



●ボラ
【出現地点】神崎川、淀川下流、堂島川、安治川、土佐堀川、道頓堀川、尻無川、木津川、大和川



●コウライモロコ
【出現地点】神崎川上流、淀川上流、大川、道頓堀川



●ハス
【出現地点】神崎川上流、淀川上流、大川、堂島川、土佐堀川、道頓堀川

水をきれいにする川の仕事 (水質浄化対策)

市内河川では様々な取り組みにより、水質の向上に努めています。



■水面清掃の様子



■河川パトロール「ますみ」



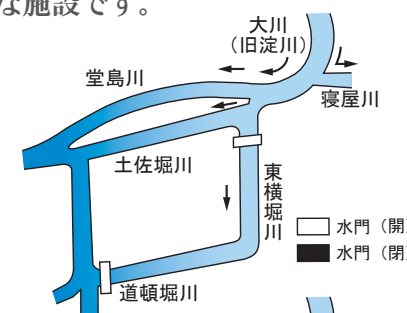
■浚渫(しゅんせつ)の様子

水門操作による河川浄化

水門は浄化にも効果的な施設です。

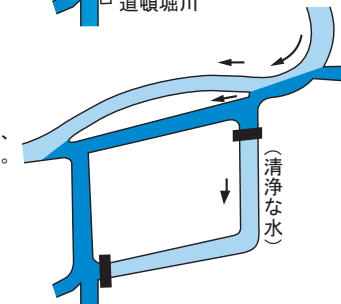
■満潮時前後

- 水位が最も上昇する満潮時に、各河川の水門を開ける。
- 満潮時は道頓堀川・東横堀川水位が高いので、寝屋川から汚水の流入は無い。
- 各河川に大川(旧淀川)の浄化用水を滞留させる。



■引き潮時

- 引き潮にかかる時に、両水門を閉め、寝屋川からの汚水の流入を阻止する。
- 東横堀川・道頓堀川に清潔な水を貯留し、水位を一定に保つ。
- 貯留水は適時、入替えを行う。



4●道頓堀川水門



川の水がきれいになったことで、色々な魚の姿を見られるようになりました。

川と錦絵

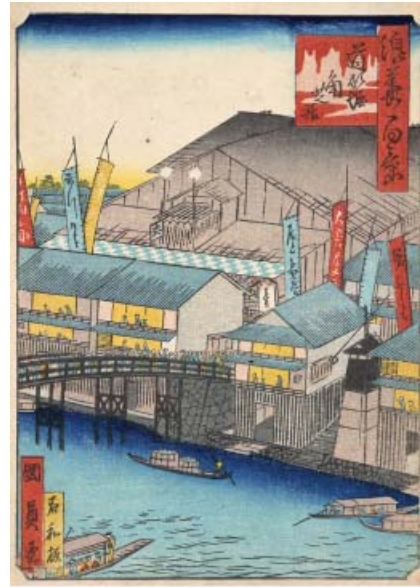
大阪の川は、町民の生活空間であるとともに、画家や文学者にとっても身近な存在であり、題材となるものでした。



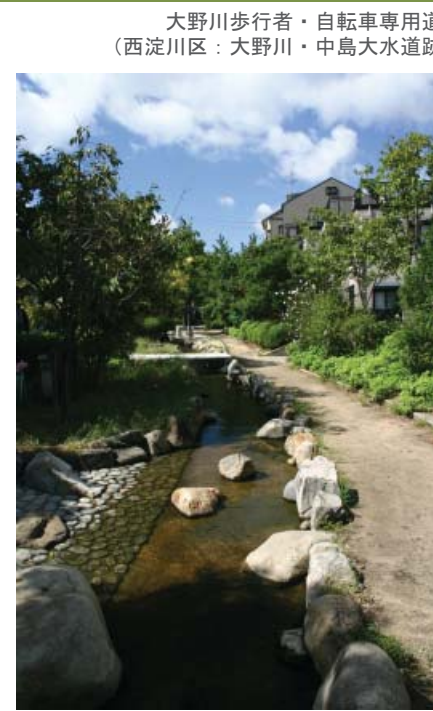
■天満ばし風景
歌川国員画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



■今橋つきぢの風景
歌川国員画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



■道頓堀角芝居
歌川国員画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



■楠根川跡緑陰歩道 (城東区)



■薩摩堀川跡 (西区)



■阿波堀川跡 (西区)



■長堀川跡のクリスタ長堀 (中央区)

川と文学

大阪の川は、古くは日本書紀に登場し、以後も元禄文学や現代において、数多く舞台や題材として取り上げられています。



■与謝蕪村 (1716~1783) 生誕地の碑と『春風馬堤曲』の句碑 (淀川河川公園毛馬堤防上)



■元禄文化を支えた文豪

左：井原西鶴 (1642~1693)

右：近松門左衛門 (1653~1724/誕生年は推定)



■八軒屋着船の図
歌川国員画 (大阪府立中之島図書館所蔵)

八軒家は、数々の文学の舞台となっており、近松や西鶴の作品にも登場します。当時の八軒家は、京都に行き来する船の船着き場があり、昼夜を問わず賑わっていました。

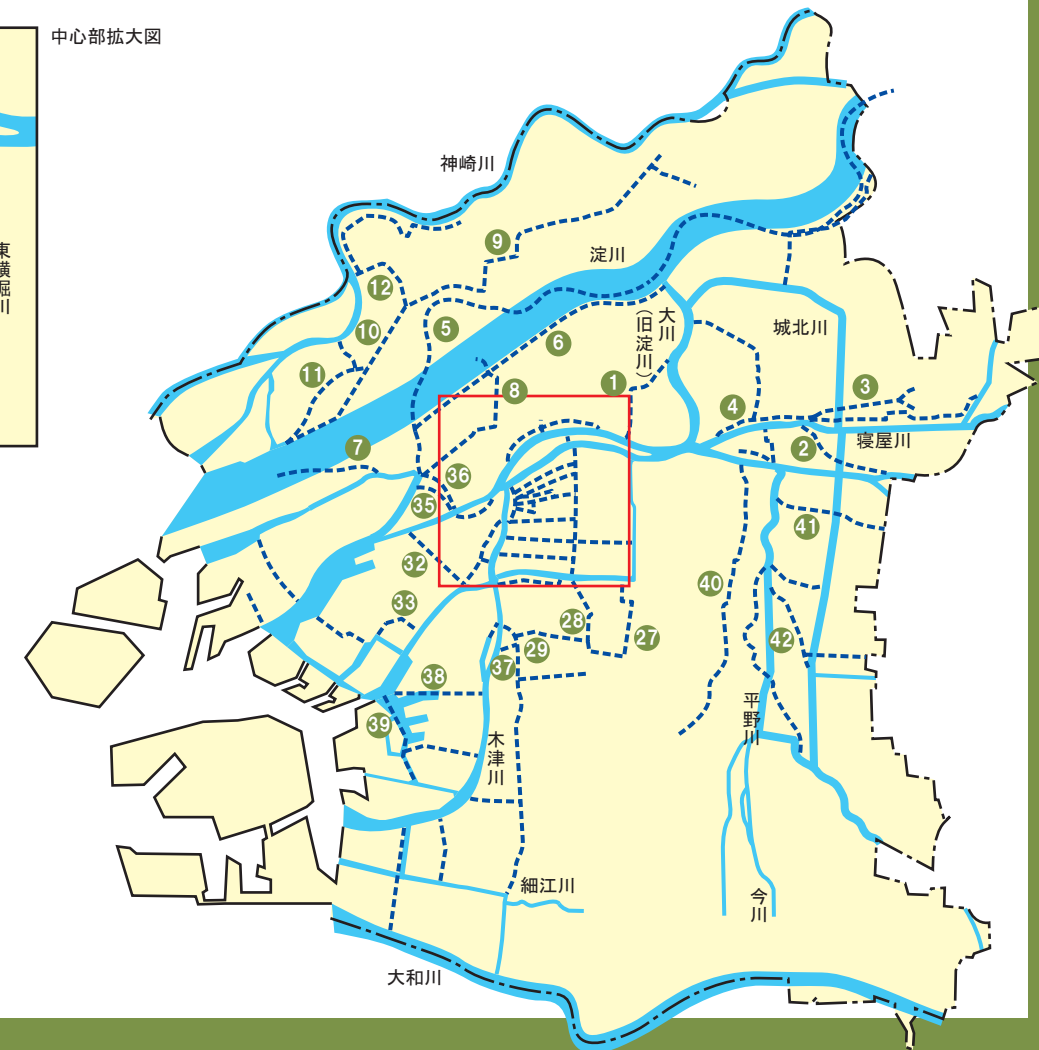
姿を変えて活躍する川

モータリゼーションの進展などにより、川の数は減りましたが、今でも姿を変えて身近なところで活躍しています。



中心部拡大図

- 1: 天満堀川
- 2: 楠根川
- 3: 三郷井路
- 4: 鯉江川
- 5: 中津川
- 6: 長柄運河 (中津運河)
- 7: 伝法川
- 8: 聖天川
- 9: 中島水道
- 10: 中島水路
- 11: 大野川
- 12: 阪北水路
- 13: 西横堀川
- 14: 百間堀川
- 15: 江戸堀川
- 16: 京町堀川
- 17: 海部堀川
- 18: 阿波堀川
- 19: 薩摩堀川
- 20: 立売堀川
- 21: 長堀川
- 22: 堀江川
- 23: 桜川
- 24: 曾根崎川
- 25: 堂島堀割
- 26: 中之島堀割
- 27: 高津入堀川
- 28: 難波新川
- 29: 颯川
- 30: 旧尻無川
- 31: 松島堀割
- 32: 境川運河
- 33: ミツ樋堀
- 34: 古川 (西区)
- 35: 逆川
- 36: 木場川
- 37: 七瀬川
- 38: 大正運河
- 39: 千歳運河
- 40: 猫間川
- 41: 千間川
- 42: 加美異川



川と映画

映画の世界でも、大阪の川を舞台とした作品が数多く制作されています。

上 ■ 『ぼんち』制作：大映(角川映画株) 1960年 (主な舞台：東横堀川)
監督：市川崑 / 出演：市川雷蔵、若尾文子、中村玉緒他

左下 ■ 『道頓堀川』制作：松竹株 1982年 (主な舞台：道頓堀川)
監督：深作欣二 / 出演：松坂慶子、真田広之、山崎努他

右下 ■ 『どてらい男』制作：東宝株 1975年 (主な舞台：中島水路跡遊歩道)
監督：古沢憲吾 / 出演：西郷輝彦、小柳ルミ子他

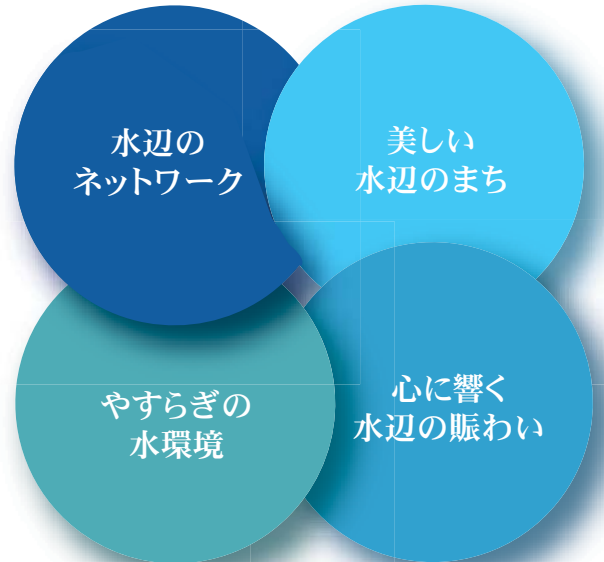




「水の都・大阪」再生構想

「水の都・大阪」の再生は、古来より水都として栄えてきた大阪の歴史が育んできた歴史的・文化的資源を活用し、都心を囲む4つの川からなる世界でも稀な「水の回廊」を重点的に整備することにより、大阪誕生の源である水辺から、都心再生を図っていこうとするプロジェクトです。

水の都・大阪の4つの基本方針



美しいまち、時を感じる水の回廊づくり



国際会議の開催・参加



ICAP (国際水都首長会議)

International Conference of Aquapolises

ICAP (国際水都首長会議) は、大阪市の市制100周年記念行事の一環として提唱された国際会議です。

この会議は、自然と人間が調和し、水と緑の保全による快適な生活を目指し、〈水辺〉と〈緑〉空間の再生、創造による美しい都市づくりをテーマとし、水と緑とのかかわり合いの中から独自の風土と歴史を形成してきた世界の都市の首長が一堂に会し、そのシティ・アイデンティティを互いに尊重しながら、21世紀文明を先導する魅力ある都市の再創造に向けて、都市相互間で市民、専門家、行政の多様な交流が展開される、「水と緑」に関する国際会議です。



情報の発信・関係各国との連携

水とみどりが活きる国際アイランドの創出

中之島ゾーン (堂島川・土佐堀川)

- 防災性向上や川とまちとの一体化を図る水辺整備



船場都心うるおいと楽しみ環境の創出

- 都心居住・就業環境を魅力的なものとする水辺空間整備

東横堀川ゾーン

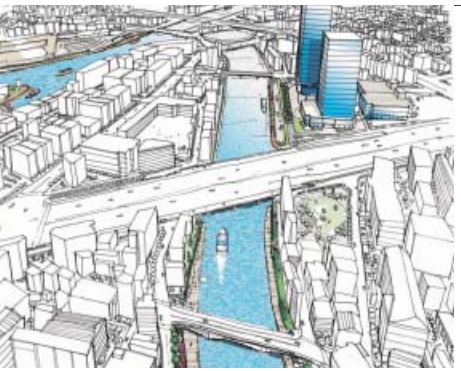


水の都・大阪 水の回廊

木津川ゾーン

活気とうるおい・文化交流環境の創出

- 緑豊かな水辺環境と賑わいづくりに向けた環境整備



- 川とまちを一体化し、賑わいの基盤となる遊歩道整備

道頓堀川ゾーン

道頓堀 なにわの水辺劇場の創出



出典：「水の都大阪再生構想 輝け水の都大阪」(水の都大阪再生協議会)



世界水フォーラム

World Water Council World Water Forum

1992年6月の地球サミット以降、21世紀の持続可能な開発には、「水資源管理」が重要な課題であるという認識が国際社会の中で高まっています。このため、1996年には、地球規模で深刻化しつつある水資源問題の解決策を追求するために、世界的な水政策のシンクタンクとしてWorld Water Council (WWC：世界水会議)が設立されました。

「世界水フォーラム」は、世界の重大な水問題を討議するために、WWCが主催する会議で、3年に一度、3月22日の「世界水の日」を含む時期に開催されています。



- | | | |
|-------------|-------|---------------------------|
| 平成9年(1997) | 第1回会議 | マラケシュ(モロッコ) |
| 平成12年(2000) | 第2回会議 | ハーグ(オランダ) |
| 平成15年(2003) | 第3回会議 | 京都を中心に滋賀・大阪を結ぶ琵琶湖・淀川流域で開催 |

左■平成15年(2003)3月18日大阪会場のオープニング風景
右■水のEXPOでの大阪市ブース／平成15年(2003)3月18～22日 インテックス大阪

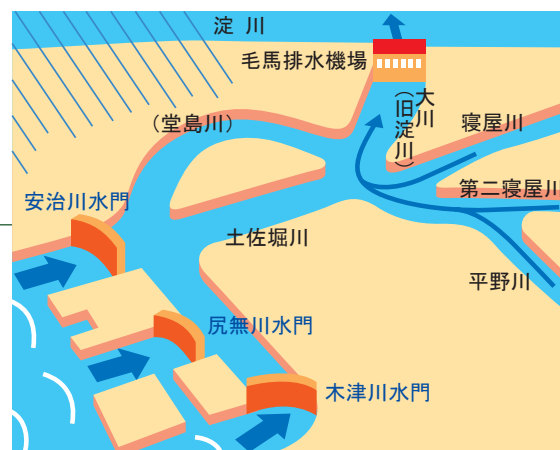
大阪の治水

安全で安心して暮らせるまちを目指し、水害からまちを守るための様々な対策に取り組んでいます。大阪市の西部では台風時の高潮被害に、東部では大雨時の浸水被害に備えた治水対策を実施しています。

西大阪地域高潮対策

西大阪地域では防潮水門、防潮鉄扉や防潮堤が整備され、過去最大の台風(伊勢湾台風)による高潮に十分対処できる高潮対策を府市協調して実施しています。

■陸間閉鎖中の様子(淀川)



■防潮水門のイメージ
資料提供：大阪府

■安治川水門の操作
資料提供：大阪府



●全開状態(安治川水門)



●閉鎖中(尻無川水門)



●閉鎖完了(木津川水門)

あんぜん・あんしんの川づくり

西大阪地域高潮対策・寝屋川流域総合治水対策位置図



凡例	西大阪地域高潮対策	寝屋川流域総合治水対策
	防潮堤(大阪府管理)	地下河川
	防潮堤(大阪府・大阪市共同管理)	地下河川(平野川調節池)
	防潮大水門	特定排水池
	防潮中小水門	排水機場
		水門・堰

寝屋川流域総合治水対策

大阪市の東部を含む寝屋川流域では、急速に市街化が進んだことにより、流域の保水・遊水機能が低下し、度重なる浸水被害を繰り返すようになっていました。そこで、国・府・関係市町村による協力の下、寝屋川流域総合治水対策を策定し、浸水被害軽減を図っています。

総合治水対策とは、川や下水道の整備を進めるとともに、雨水を一時的に貯めるなどにより、一挙に下水道や川に流出しないようにするなど、流域全体で実施される治水対策です。

平野川・平野川分水路改修

【寝屋川流域総合治水対策】

狭小で蛇行した河道形状を修正するため、川幅の拡幅や河積の拡大等の河川改修を行い、川の流れをスムーズにすると共に、護岸・橋梁の嵩上げを実施し、治水安全度の向上を図っています。



■平野川分水路(城東区)

■整備方法(ゴライアスクレーン)

- 出水期にも継続して施工が可能であること
- 栈橋などの仮設物により河積を阻害しないこと
- 工事に伴う振動、騒音等の工事公害を極力抑制することを目的として採用された門型クレーンです。

護岸沿いに設けたレール上を門型クレーンが矢板等を打設しながら移動します。



平野川調節池

【寝屋川流域総合治水対策】

平野川調節池は、大阪市東南部の浸水被害を解消するため、幹線道路の地下に雨水を一時的に貯留するトンネル(直径約10m)です。現在は約36万³の雨水を貯めることが可能で、将来的には木津川まで延びる地下河川の一部となる予定です。

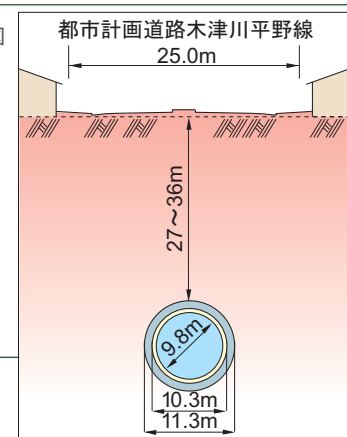


■完成写真

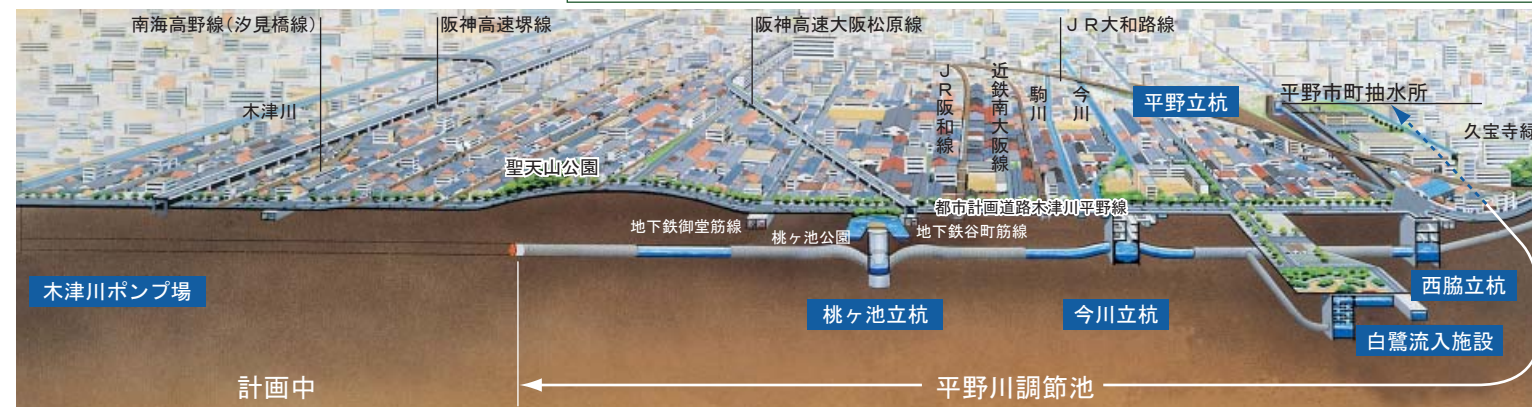
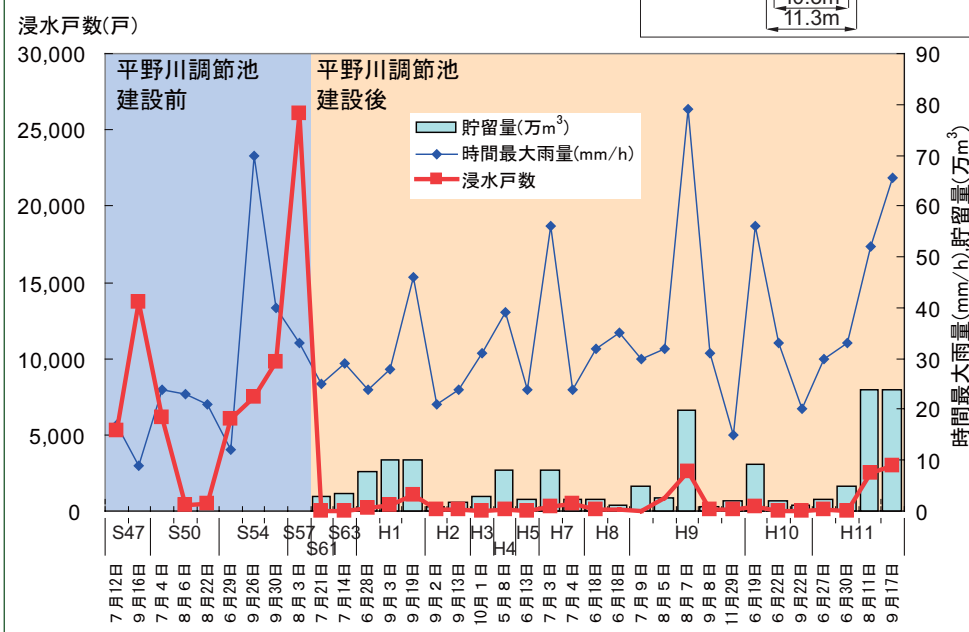


■平野川調節池における貯留状況

■標準断面図



■浸水戸数の推移(大阪市東南部)



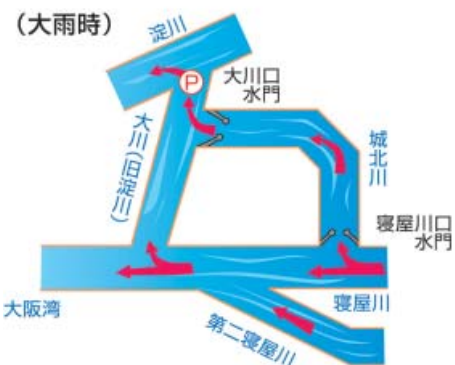
■平野川調節池概要図

城北川【寝屋川流域総合治水対策】

大川(旧淀川)へのバイパス河川として機能し、大雨時の寝屋川の水位を下げ、流域の浸水被害を軽減するために、城北川の護岸改修を実施しています。

また、水面を見ながら散策することのできる川沿いの遊歩道など、環境にも配慮した整備を改修に併せて実施しています。

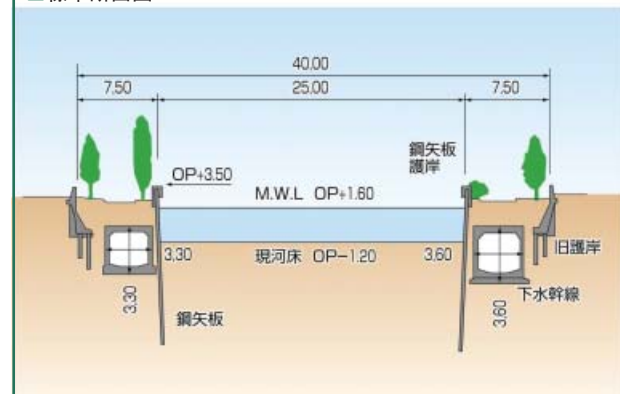
概念図 治水機能



第1次改造



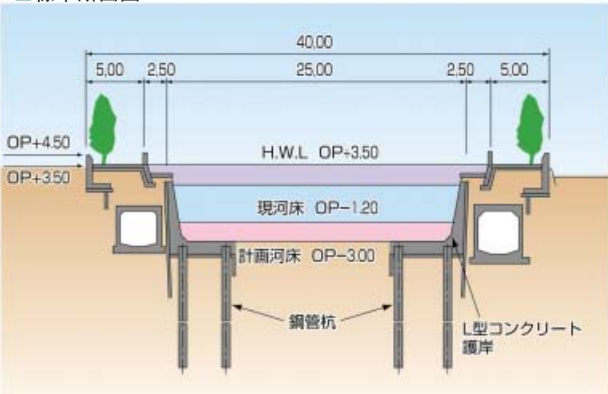
標準断面図 (単位:m)



第2次改造

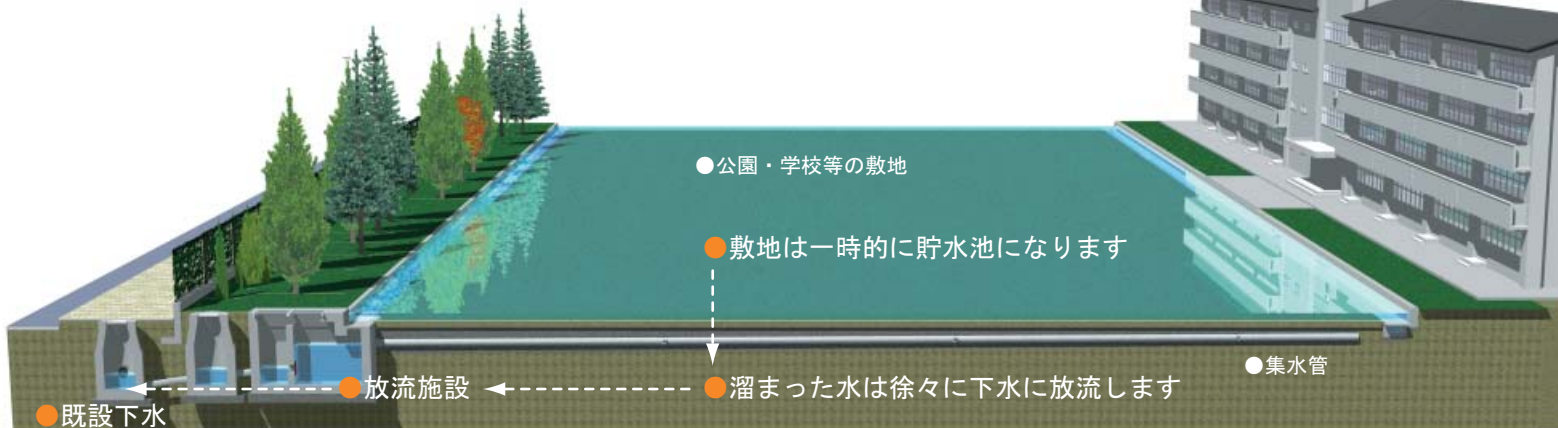


標準断面図 (単位:m)



流域貯留浸透事業【寝屋川流域総合治水対策】

公園・学校等の敷地を利用し、雨水を一時的に貯める貯留浸透事業を実施しています。



その他の河川整備

その他の市内河川においても、護岸整備などを実施し、治水安全度の向上を図っています。



防災

防災情報の収集

川の水位や排水用ポンプ稼働状況などを集中管理する「河川情報システム」の充実や、迅速で的確な災害情報を収集、伝達するとともに災害への応急対策が図られるよう防災対策に努めています。



道頓堀川水門操作室

ハザードマップ(北区)



河川情報システム

水防

大阪市では淀川・大和川の流域各市と協調し、淀川左岸、淀川右岸、大和川右岸の3水防事務組合を設置し、市域を含む約335km²の地域と住民の生命と財産を守っています。



水防訓練の様子

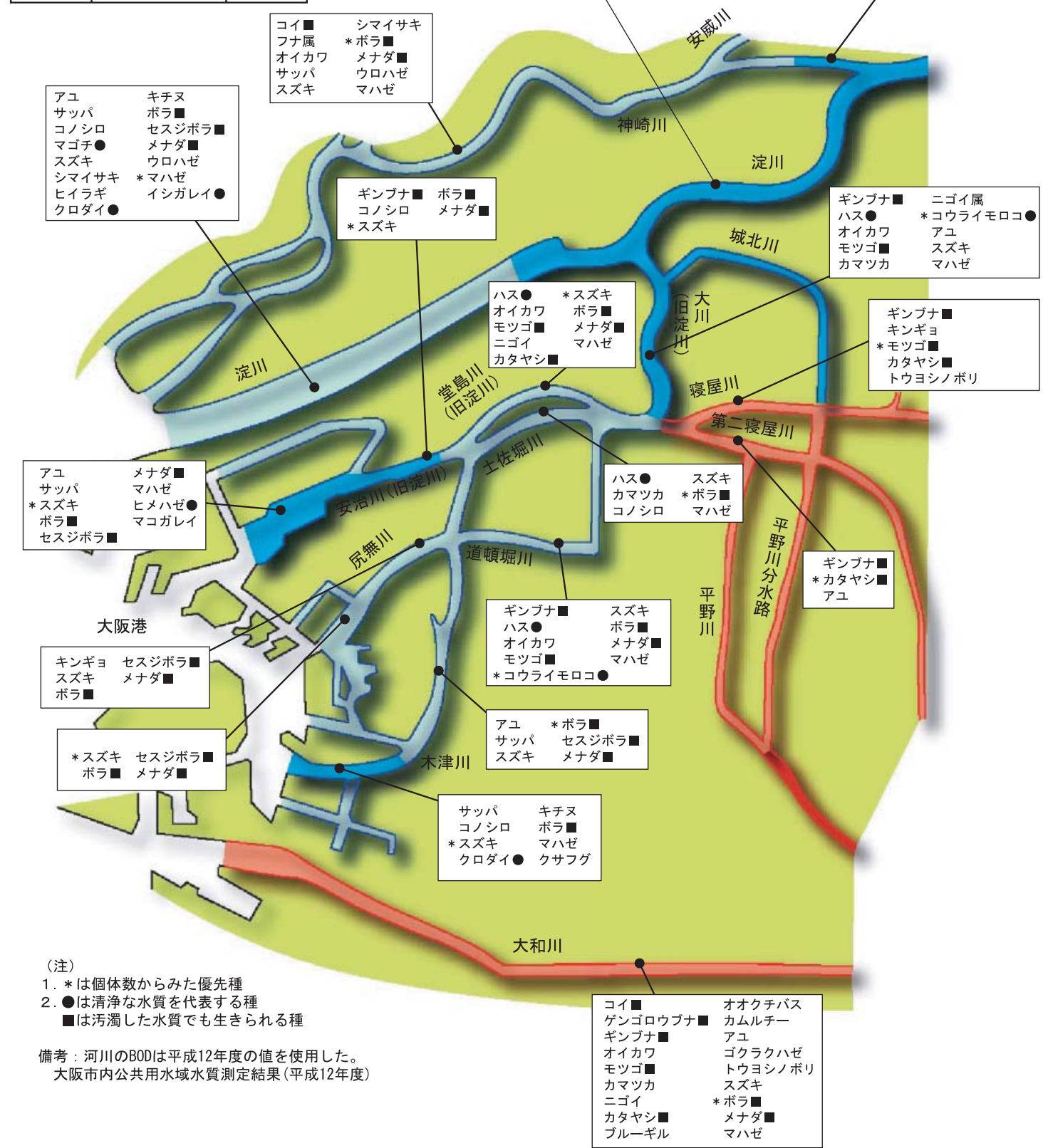
平成16年7月15日現在

区分	淀川左岸	淀川右岸	大和川右岸	計	
組合の設立	大 8・11・8	大15・6・21	昭28・ 5・1		
事務組合に改組	昭33・12・1	昭35・2・15	昭33・12・1		
防御堤防の延長	本川	41,265.5m	82,680.0m	20,200.0m	144,145.5m
	防潮	94,035.0m	22,219.0m	16,934.0m	133,188.0m
	計	135,300.5m	104,899.0m	37,134.0m	277,333.5m
防御区域の面積	約190km ²	約64km ²	約81km ²	約335km ²	
防御区域	枚方市、寝屋川市、守口市、大東市、門真市、四條畷市、東大阪市、大阪市(各市域の一部が防御区域に該当)	島本町、高槻市、茨木市、摂津市、吹田市、豊中市、大阪市(各市域の一部が防御区域に該当)	柏原市、藤井寺市、八尾市、松原市、東大阪市、大阪市(各市域の一部が防御区域に該当)		
	組合の管理者	大阪市長	大阪市長	大阪市長	
水防団員	本川	1,926人	2,283人	1,031人	
	防潮	3,033人	618人	537人	9,428人
	計	4,959人	2,901人	1,568人	

水防事務組合の概要

大阪市内河川の魚類生息状況

河川水質	見た感じ	BOD mg/L
	きれい	2未満
	やや汚れている	2 - 5
	汚れている	5 - 10
	相当汚れている	10以上



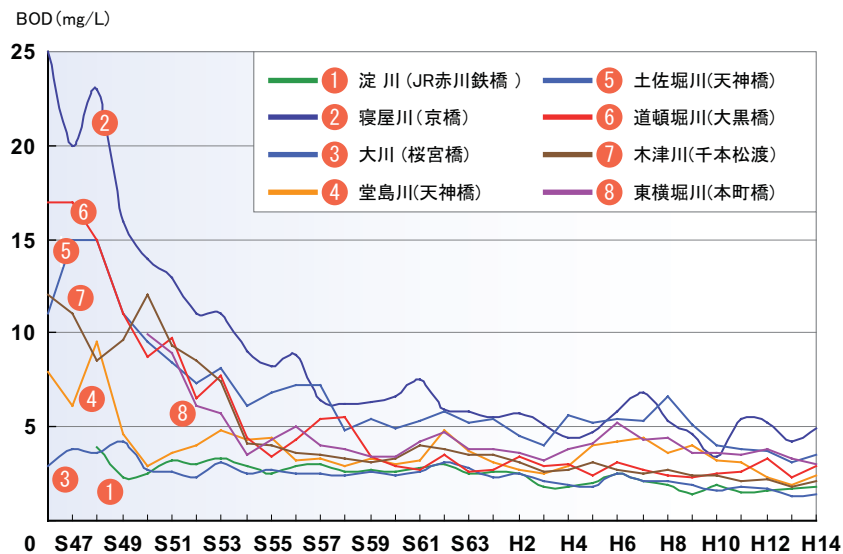
- (注)
 1. *は個体数からみた優先種
 2. ●は清浄な水質を代表する種
 ■は汚濁した水質でも生きられる種

備考：河川のBODは平成12年度の値を使用した。
 大阪市内公共用水域水質測定結果(平成12年度)

■市内河川魚類生息状況平成13年度調査 「大阪市環境白書(平成15年度版)」より

大阪市内の河川水質の推移

■河川水質の推移グラフ



近年、様々な水質対策を行ってきた結果、水質は年々向上し、現在ではほとんどの河川でBOD 5 mg/L以下の良好な河川水質になってきています。

大阪の川データ

大阪市の河川現況

■河川法の取り扱いと管理者

凡例	河川法取り扱い	管理者
	一級河川	国土交通大臣
	一級河川(河川法第9条第2項)	大阪府知事
	一級河川(河川法第9条第2項)	大阪府知事(大阪市長に委任)
	一級河川(河川法第9条第5項)	大阪市長
	準用河川	大阪市長
	普通河川	大阪市(建設局)
	市界	

■河川現況表(平成16年11月現在)

河川種別	河川数	延長(km)	管理者
一級河川	指定区域外	2	国土交通大臣
	指定区域内	17	大阪府知事 大阪市長
準用河川	4	5.0	大阪市長
普通河川	4	2.3	大阪市(建設局)
計	33	146.4	

大阪市内の河川数は平成16年4月現在で、33河川、総延長146.4kmとなっています。このうち、大阪市は一級河川6河川、準用河川4河川、普通河川4河川の管理を行っています。また、大阪府が管理している一級河川のうち城北川については、河川工事や維持及び管理事務の一部を大阪市が行っています。

